

1. 研究室概要

大学名	首都大学東京		研究者	馬場 哲晃
			職位	助教
研究領域	インタラクティブアート、インタラクティブデザイン		窓口担当	産学公連携センター
研究キーワード	インタラクティブアート、インタラクティブデザイン、エンタテインメントコンピューティング			
住所	〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6			
電話	042-677-2729	E-mail	soudanml@mj.tmu.ac.jp	
FAX	042-677-5640	URL	http://tetsuakibaba.jp	

2. 技術PR事項

『生活に組み込まれた情報機器を自然に楽しくユーザが操作』

～先端インタラクティブ技術を芸術、エンタテインメントや福祉に応用しています～

1. 概要

インタラクティブデザインを軸に工学と表現領域にまたがる研究を行う研究室です。具体的には触覚、映像、音を対話的に扱うインタフェースを開発し、新たなコミュニケーションを創造する研究などをアイデア、設計、実装、検証、最終のデザインのアウトプまで一貫した研究を行なっています。

● 五線譜をリアルタイムで演奏可能にするシステム(記譜と演奏を合わせたインタラクションの提案)

紙に記述した五線譜及び音符情報をイメージセンサにてスキャニング操作をすることで、記述された楽曲をリアルタイムに演奏可能にするシステムを提案します。画像処理アルゴリズムの開発からデバイス実装を行います。

● 動くインタフェース

テレビやエアコンのリモコン、マウスやキーボードなどの入力装置が自発的に動くことで、これまでのユーザ・インタフェースデザインでは実現されなかった、実物体の動きを伴う入力装置の開発を行なっています。これを利用した電子楽器では国外ミュージシャンとコラボレーションしています。

● 「フレクトリック ドラムス」(商品化)

自分以外の人の手や肌に触れることで、色々な音を鳴らすことができる電子楽器です。スキンシップで音の鳴る新しいコミュニケーションツールとして大活躍です。大手メーカーより多くの商品化がなされました。



2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

ビデオゲーム、知的玩具、教育機器、電子音楽、広告等の分野において、新規企画からプロトタイプングプロセスにおける共同研究(電子部品開発や、ソフトウェア/ハードウェアのインタフェース開発/評価等)を希望します。

3. 特記事項

研究室ウェブサイト: <http://ideea.jp>